

【専門科目領域/専門基礎科目群/人間の構造や機能と疾病の成り立ち】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
疾病治療論V	NSF22_003	必修	1	2	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
森川 三郎 他	417	s.morikawa	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	疾病治療論では、看護の対象理解に必要な疾病のなりたちと病因、症状を理解するとともに、診断に必要な検査、治療法、予後について学ぶ。疾病治療論Vでは、精神疾患、歯・口腔疾患、耳鼻咽喉疾患に関して、臨床で経験する頻度の高い疾患を中心に理解を深める。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	解剖学及び生理学的及び病理学的な知識・考え方を常に念頭に置いて予習復習を行うことで、より効率的に学習ができる。				
教科書	・ちくまプリマー新書「初めての精神医学」/著:村井俊哉/筑摩書房/2021 ・専門分野(2)成人看護学<15> 第15版 歯・口腔/医学書院 ・専門分野(2)成人看護学<14> 第15版 耳鼻咽喉/医学書院				
参考書	・精神看護学<1>精神看護の基礎 第6版(系統看護学講座)/医学書院(精神看護学概論・援助論等で購入) ・精神看護学<2>精神看護の展開 第6版(系統看護学講座)/医学書院(精神看護学概論・援助論等で購入)				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	臨床的に重要な疾患についての基本的な知識と考え方を理解し、説明することができる		NS(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	精神疾患(1) (担当:森川) テキスト第1章～精神疾患の分類(DSM-V)、第2章～自閉症スペクトラム・知的能力障害・注意欠如多動症について学ぶ。	講義	テキスト1.の第1章・第2章の予習、講義内容を復習する。	3.75	
2	精神疾患(2) テキスト第3章～統合失調症・双極性障害・うつ病について学ぶ。	講義	テキスト1.の第3章の予習、講義内容を復習する。	3.75	
3	精神疾患(3) テキスト第4章～不安症・強迫症、第5章～心的外傷後ストレス障害・適応障害・解離性健忘・身体症状症について学ぶ。	講義	テキスト1.の第4章・第5章の予習、講義内容を復習する。	3.75	
4	精神疾患(4) テキスト第6章～摂食障害・不眠症・性別違和、第7章～依存症について学ぶ。	講義	テキスト1.の第6章・第7章の予習、講義内容を復習する。	3.75	
5	精神疾患(5) テキスト第8章～認知症、第9章～パーソナリティ障害・素行症について学ぶ。	講義	テキスト1.の第8章・第9章の予習、講義内容を復習する。	3.75	
6	歯科口腔ケアについて(担当:榎本)	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	3.75	
7	耳鼻科1 解剖と整理、疾患について	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	3.75	
8	耳鼻科2 検査、治療、その他について	講義	教科書の該当部分の予習、講義内容を復習する。	3.75	
試	達成度評価・評価のポイントを参照				

【専門科目領域/専門基礎科目群/人間の構造や機能と疾病の成り立ち】

達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	定期試験は講義全体について実施する。				試験問題について講義の内容を踏まえて解説する。必要に応じフィードバックの時間をしっかり確保する。
備 考							
他担当教員	榎本 温						
教員の実務経験	<ul style="list-style-type: none"> ・当科目は複数の教員が単元ごとに授業を担当するオムニバス形式となっている。 ・科目担当者は医師もしくは看護師としての実務経験を積んだ教員である。 						
実践的授業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床で体験した実践事例を取り入れている。 						
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。 ・この講義は、今後の社会情勢等によって再度シラバスを変更する可能性がある。 						